

α-2,3-シアル転移酵素、組換え

Cat. No. NATE-0988

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 シアル転移酵素は、新たに合成されたオリゴ糖にシアル酸を転移する酵素です。各シアル転移酵素は特定の糖基基質に特異的です。シアル転移酵素は、シアル化されたグリコリピッド（ガングリオシド）の末端部分や、糖タンパク質のN-またはO-結合糖鎖にシアル酸を追加します。シアル転移酵素は、ヌクレオチド-リン酸糖をドナー（CMP-NeuA）として使用する糖転移酵素ファミリー29（CAZY GT_29）に属します。

用途 α-2,3-シアル転移酵素は、シアル化されていない、または完全にシアル化されていない糖タンパク質の標的的なin vitroシアル化に使用されます。

別名 α(2,3)-シアル基転移酵素; ベータ-ガラクトシド α-2,3-シアル基転移酵素; ベータ-ガラクトサミド α-2,3-シアル基転移酵素; CMP-N-アセチルノイラミン酸-ベータ-ガラクトサミド-α-2,3-シアル基転移酵素

製品情報

外形 透明で無色またはわずかに色づいた溶液。

分子量 34.5 kDa

純度 > 90%

活性 > 80 U/μg (1ユニット = pmol / 分、シアル転移酵素活性アッセイで10 μgの酵素を使用)

組成 50 mM MES、200 mM NaCl、pH 6.4 ± 0.1、+4°Cで。

保管・発送情報

安定性 -15°Cから-25°Cの範囲: 12ヶ月間の仕入範囲内。